

1 原点を O とする座標平面上に 2 点 $A(1, 0)$, $B(0, 1)$ をとり, O を中心とする半径 1 の円の第 1 象限にある部分を C とする. 3 点 $P(x_1, y_1)$, $Q(x_2, y_2)$, R は C の周上にあり, $2y_1 = y_2$ および $\angle AOP = 4\angle AOR$ を満たすものとする. 直線 OQ と直線 $y = 1$ の交点を Q' , 直線 OR と直線 $y = 1$ の交点を R' とする. $\angle AOP = \theta$ とするとき, 次の問いに答えよ.

(1) 点 Q の座標を θ を用いて表せ.

(2) 点 Q' と点 R' の座標を θ を用いて表せ.

(3) 点 P が点 A に限りなく近づくとき, $\frac{BR'}{BQ'}$ の極限を求めよ. ただし, $\lim_{x \rightarrow 0} \frac{\sin x}{x} = 1$ であることは用いてよい.

2 3 個の玉が横に一直線に並んでいる. コインを 1 回投げて, それが表であれば, そのときに中央にある玉とその左にある玉とを入れ替える. また, それが裏であれば, そのときに中央にある玉とその右にある玉とを入れ替える. この操作を繰り返す.

(1) 最初に中央にあったものが n 回後に中央にある確率を求めよ.

(2) 最初に右端にあったものが n 回後に右端にある確率を求めよ.

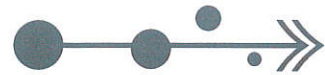
3 関数

$$y = x^x(1-x)^{1-x} \quad (0 < x < 1)$$

について, 次の問いに答えよ.

(1) y の導関数を求めよ.

(2) y のとり得る値の範囲を求めよ. ただし, 必要があれば, $\lim_{t \rightarrow +0} t^t = 1$ であることを証明なしに用いてよい.



2016年 国際資源学部 第3問

3 原点を O とする座標平面上に 2 点 $A(1, 0)$, $B(0, 1)$ をとり, O を中心とする半径 1 の円の第 1 象限にある部分を C とする. 3 点 $P(x_1, y_1)$, $Q(x_2, y_2)$, R は C の周上にあり, $2y_1 = y_2$ および $\angle AOP = 4\angle AOR$ を満たすものとする. 直線 OQ と直線 $y = 1$ の交点を Q' , 直線 OR と直線 $y = 1$ の交点を R' とする. $\angle AOP = \theta$ とするとき, 次の問いに答えよ.

(1) 点 Q の座標を θ を用いて表せ.

(2) 点 Q' と点 R' の座標を θ を用いて表せ.

(3) 点 P が点 A に限りなく近づくとき, $\frac{BR'}{BQ'}$ の極限を求めよ. ただし, $\lim_{x \rightarrow 0} \frac{\sin x}{x} = 1$ であることは用いてよい.

(1) $2y_1 = y_2$, $y_1 = \sin \theta$ より

$$y_2 = 2 \sin \theta$$

$$x_2^2 + y_2^2 = 1, x_2 > 0 \text{ より}$$

$$x_2 = \sqrt{1 - 4 \sin^2 \theta}$$

$$\therefore Q(\sqrt{1 - 4 \sin^2 \theta}, 2 \sin \theta) \text{ ,,}$$

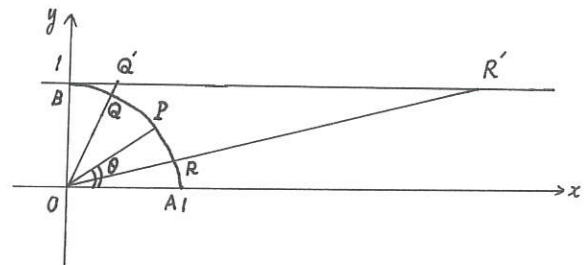
(2) 直線 OQ : $y = \frac{2 \sin \theta}{\sqrt{1 - 4 \sin^2 \theta}} x$ に $y = 1$ を代入して. $x = \frac{\sqrt{1 - 4 \sin^2 \theta}}{2 \sin \theta}$ $\therefore Q'(\frac{\sqrt{1 - 4 \sin^2 \theta}}{2 \sin \theta}, 1)$,,

$R(\cos \frac{\theta}{4}, \sin \frac{\theta}{4})$ より 直線 OR : $y = (\tan \frac{\theta}{4}) x$ これに $y = 1$ を代入して. $x = \frac{1}{\tan \frac{\theta}{4}}$

$$\therefore R'(\frac{\cos \frac{\theta}{4}}{\sin \frac{\theta}{4}}, 1) \text{ ,,}$$

(3) 点 P が点 A に限りなく近づくとき. $\theta \rightarrow 0$

$$\begin{aligned} \therefore \lim_{\theta \rightarrow 0} \frac{BR'}{BQ'} &= \lim_{\theta \rightarrow 0} \frac{\cos \frac{\theta}{4}}{\sin \frac{\theta}{4}} \cdot \frac{2 \sin \theta}{\sqrt{1 - 4 \sin^2 \theta}} \\ &= \lim_{\theta \rightarrow 0} \underbrace{\frac{\frac{\theta}{4}}{\sin \frac{\theta}{4}}}_{\rightarrow 1} \cdot \underbrace{\frac{\sin \theta}{\theta}}_{\rightarrow 1} \cdot \underbrace{\frac{8 \cos \frac{\theta}{4}}{\sqrt{1 - 4 \sin^2 \theta}}}_{\rightarrow 8} \\ &= 8 \text{ ,,} \end{aligned}$$





2014年 第3問

3 3個の玉が横に一直列に並んでいる。コインを1回投げて、それが表であれば、そのときに中央にある玉とその左にある玉とを入れ替える。また、それが裏であれば、そのときに中央にある玉とその右にある玉とを入れ替える。この操作を繰り返す。

- (1) 最初に中央にあったものが n 回後に中央にある確率を求めよ。
 (2) 最初に右端にあったものが n 回後に右端にある確率を求めよ。

(1) 最初に中央にあったものが n 回後に中央にある確率を P_n とおくと。

$$P_{n+1} = (1 - P_n) \times \frac{1}{2}$$

中央になければ $n+1$ 回目には $\frac{1}{2}$ で中央にくる。

$$\therefore P_{n+1} - \frac{1}{3} = -\frac{1}{2} \left(P_n - \frac{1}{3} \right)$$

\therefore 数列 $\{P_n - \frac{1}{3}\}$ は初項 $P_1 - \frac{1}{3} = -\frac{1}{3}$, 公比 $-\frac{1}{2}$ の等比数列

$$\therefore P_n - \frac{1}{3} = -\frac{1}{3} \cdot \left(-\frac{1}{2}\right)^{n-1}$$

$$\therefore P_n = \frac{1}{3} \left\{ 1 - \left(-\frac{1}{2}\right)^{n-1} \right\}$$



(2) 最初に右端にあったものが n 回後に右端にある確率, 中央にある確率をそれぞれ g_n, r_n とおくと。左端にある確率は $1 - g_n - r_n$ となる。

$$\begin{cases} g_{n+1} = \frac{1}{2}g_n + \frac{1}{2}r_n \quad \dots \textcircled{1} \\ r_{n+1} = \frac{1}{2}g_n + \frac{1}{2}(1 - g_n - r_n) \Leftrightarrow r_{n+1} = \frac{1}{2} - \frac{1}{2}r_n \quad \dots \textcircled{2} \end{cases}$$

$$\textcircled{2} \text{より。} r_{n+1} - \frac{1}{3} = -\frac{1}{2} \left(r_n - \frac{1}{3} \right)$$

\therefore 数列 $\{r_n - \frac{1}{3}\}$ は初項 $r_1 - \frac{1}{3} = \frac{1}{6}$, 公比 $-\frac{1}{2}$ の等比数列

$$\therefore r_n = \frac{1}{3} + \frac{1}{6} \cdot \left(-\frac{1}{2}\right)^{n-1}$$

これを $\textcircled{1}$ に代入して、式変形すると。

$$g_{n+1} - \frac{1}{3} = \frac{1}{2} \left(g_n - \frac{1}{3} \right) + \frac{1}{3} \left(-\frac{1}{2}\right)^{n-1} \Leftrightarrow \frac{g_{n+1} - \frac{1}{3}}{\left(-\frac{1}{2}\right)^{n+1}} = -\frac{g_n - \frac{1}{3}}{\left(-\frac{1}{2}\right)^n} + \frac{1}{3}$$

$\therefore S_n = \frac{g_n - \frac{1}{3}}{\left(-\frac{1}{2}\right)^n}$ とおくと。 $S_{n+1} - \frac{1}{6} = -\left(S_n - \frac{1}{6}\right)$ $\therefore \{S_n - \frac{1}{6}\}$ は初項 $-2\left(g_1 - \frac{1}{3}\right) - \frac{1}{6}$, 公比 -1

$$\text{の等比数列} \therefore S_n = \frac{1}{6} - \frac{1}{2}(-1)^{n-1} \quad \therefore g_n = \frac{1}{2} \left(-\frac{1}{2}\right)^{n+1} - \frac{1}{3} \left(-\frac{1}{2}\right)^{n+1} + \frac{1}{3}$$

2016年 第8問

8 関数

$$y = x^x(1-x)^{1-x} \quad (0 < x < 1)$$

について、次の問いに答えよ。

(1) y の導関数を求めよ。

(2) y のとり得る値の範囲を求めよ。ただし、必要があれば、 $\lim_{t \rightarrow +0} t^t = 1$ であることを証明なしに用いてよい。

(1) $0 < x < 1$ のとき、 $x^x > 0$ 、 $(1-x)^{1-x} > 0$

∴ 両辺、対数をとる、

$$\log y = \log x^x(1-x)^{1-x}$$

$$\therefore \log y = x \log x + (1-x) \log(1-x)$$

両辺 x で微分して、

$$\begin{aligned} \frac{1}{y} \cdot y' &= \log x + x \cdot \frac{1}{x} - \log(1-x) + (1-x) \cdot \frac{-1}{1-x} \\ &= \log x - \log(1-x) \\ &= \log \frac{x}{1-x} \end{aligned}$$

$$\therefore y' = x^x(1-x)^{1-x} \log \frac{x}{1-x} \quad "$$

(2) (1)より、 $y' = 0$ となるのは、 $0 < x < 1$ において、 $\frac{x}{1-x} = 1$ すなわち $x = \frac{1}{2}$ のとき

$$\lim_{t \rightarrow +0} t^t = 1 \text{ より、} \lim_{x \rightarrow +0} y = 1, \lim_{x \rightarrow 1-0} y = \lim_{t \rightarrow +0} t^t(1-t)^{1-t} = 1$$

$t = 1-x$ とおいた

よって増減表は下のようになる。

x	(0)	...	$\frac{1}{2}$...	(1)
y'		-	0	+	
y	(1)	↘	$\frac{1}{2}$	↗	(1)

$$\therefore \frac{1}{2} \leq y < 1 \quad "$$